

報告事項 ア

令和4年度とっとり学力・学習状況調査結果概要について

令和4年度とっとり学力・学習状況調査結果について、別紙のとおり報告します。

令和4年9月8日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

令和4年度 とっとり学力・学習状況調査の結果について

令和4年9月8日
小 中 学 校 課

令和4年5月9日（月）から5月18日（水）までの任意の日を実施したとっとり学力・学習状況調査については、令和4年8月25日（木）に調査結果が返却されました。本県の調査結果概要は次のとおりです。

- 全般的に概ね各学年で順調に学力レベルを伸ばしている。
- 非認知能力・学習方略の数値において、概ね学力を下支えする力を伸ばすことができている。

【小学校】

- 算数は、国語と比較すると伸びが大きく、どの学年も学力レベルを2ずつ伸ばしている。このことから、算数訪問等の取り組みと相まって、学校の授業改善の成果が表れていると考えられる。
- 国語は、5年生を除き学力レベルを1～2伸ばしているが、学力を伸ばした児童の割合と伸びが小さく、国語の力を十分には伸ばし切れていない。

【中学校】

- 数学は、1・2年生ともに昨年度からの伸びが大きい。また、1年生は昨年度に比べ学力レベルが高い。
- 国語は、概ね順調に学力レベルを伸ばしている。

本年度より実施校のほとんどが2年目になったことから、一定程度県としての学力レベルの伸びや学力が伸びた児童生徒の割合が数値として測定できるようになった。今後は、とっとり学力・学習状況調査の結果を踏まえ、また、全国学力・学習状況調査の結果とも併せて分析するなどして学校現場の状況に合わせた取組をすすめていきたい。

1 鳥取県調査実施状況

- (1) 参加市町村 13市町村
- (2) 参加学校数 小学校102校・中学校43校・義務教育学校4校・特別支援学校3
- (3) 参加児童・生徒数 小学校・義務教育学校前期課程 12,668人
中学校・義務教育学校後期課程 7,865人

2 本県の状況

(1) -① 現学年別学力レベルの推移

学年	国語			算数・数学		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
現小4	-	-	5-A	-	-	5-C
現小5	-	6-A	6-A(0)	-	5-B	6-C(+2)
現小6	6-C	6-A(+2)	7-B(+2)	5-C	6-C(+3)	6-A(+2)
現中1	7-C	7-B(+1)	7-A(+1)	5-A	7-C(+4)	7-A(+2)
現中2	7-B	8-C(+2)	8-B(+1)	7-C	7-B(+1)	8-C(+2)

() 内は、前年度からの学力レベルの伸び

(1) -② 各学年の年度別学力レベル

学年	国語			算数・数学		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
小4	6-C	6-A	5-A	5-C	5-B	5-C
小5	7-C	6-A	6-A	5-A	6-C	6-C
小6	7-B	7-B	7-B	7-C	7-C	6-A
中1	-	8-C	7-A	-	7-B	7-A
中2	-	-	8-B	-	-	8-C

(1) -③ 各学年の平均正答率と学力が伸びた児童生徒の割合 (%)

学年	国語		算数・数学	
	平均正答率	学力が伸びた児童生徒の割合	平均正答率	学力が伸びた児童生徒の割合
小 4	56.7 (54.7)	—	59.7 (66.6)	—
小 5	55.2 (56.1)	54.4 (66.0)	63.6 (58.9)	72.7 (82.2)
小 6	61.0 (59.0)	76.4 (64.6)	59.7 (59.4)	75.2 (81.8)
中 1	57.5 (59.7)	61.9 (69.9)	58.3 (60.2)	68.3 (69.9)
中 2	55.2	61.9	52.4	68.5

※ () 内の数値は、昨年度の児童生徒の調査結果

(2) 児童生徒質問紙調査 (5が最高値)

学年	主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略				
		柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	認知的方略	努力調整方略
小 4	3.9 (4.0)	3.5 (3.5)	3.5 (3.5)	3.5 (3.5)	3.7 (3.8)	3.9 (3.9)
小 5	4.0 (3.9)	3.4 (3.3)	3.5 (3.4)	3.4 (3.3)	3.7 (3.7)	3.9 (3.9)
小 6	3.9 (3.9)	3.4 (3.3)	3.5 (3.4)	3.3 (3.4)	3.7 (3.7)	3.9 (3.9)
中 1	4.0 (3.9)	3.5 (3.4)	3.6 (3.6)	3.5 (3.5)	3.8 (3.7)	3.9 (3.9)
中 2	3.8	3.3	3.5	3.4	3.6	3.7

学年	非認知能力				
	自己効力感	やりぬく力	向社会性	勤勉性	自制心
小 4	3.4	3.1	—	—	—
小 5	3.3	—	3.1	—	—
小 6	3.2	—	—	3.7	—
中 1	3.1	—	—	—	3.8
中 2	2.9	—	3.0	—	—

※ () 内の数値は、昨年度の児童生徒の調査結果

※ 中学2年生は本年度から実施しているため、昨年度の数値はない

◆ 主な学習方略・非認知能力について

- ・柔軟的方略：自分の状況に合わせて学習方略を柔軟に変更していく活動
- ・プランニング方略：計画的に学習に取り組む活動
- ・作業方略：ノートに書く、声を出すといった「作業」を中心に学習を進める活動
- ・認知的方略：より自分の理解度を深めるような学習活動
- ・努力調整方略：「苦手」などの感情をコントロールして学習への意欲を高める活動
- ・自己効力感：自分はそれが実行できるという期待や自信
- ・勤勉性：やるべきことをきちんとやることができる力
- ・自制心：自分の意思で感情や欲望をコントロールすることができる力

3 調査結果概要

【教科に関する調査の結果】

本調査の調査結果について、次の2つの観点を目指して分析を進めることとする。

○ 学力が伸びた児童生徒の割合 → 昨年度の学力レベルから1つでもレベルが上がった児童生徒の割合

○ 学力の伸び → 児童生徒の昨年度の学力レベルと今年度の学力レベルの差

◇ 国語

- ・学力が伸びた児童生徒の割合は6割前後であるが、小学6年生では伸びた児童生徒の割合も学力の伸びも大きいことから、昨年度の小学5年生での学習効果が高かったと考えられる。
- ・小学5年生では、伸びた児童生徒の割合が低く、伸びも小さいことから、小学4年生時の学習内容や学習状況を分析し、授業改善へとつなげていく必要がある。
- ・例年と比較すると、小学4年生の学力に課題があると想定され、今後も継続して注視する必要がある。

◇算数・数学

- ・学力が伸びた児童生徒の割合は7割程度であり、国語より伸びた児童生徒の割合が高く、伸びも大きい。概ねどの学年でも伸びた児童生徒の割合も伸びも同等である。
- ・昨年度と比較すると、伸びた児童生徒の割合は低くなっており、伸びていない児童生徒の状況や学力レベル等を分析し、多くの児童生徒が学力を伸ばす取組を進めていくことが必要である。

◇共通

- ・小・中全学年が学力レベルを1から2上げることができている。中学2年生の学力が伸びた生徒の割合や伸びの大きさが他の学年と大きく変わらないことから、小中の接続による顕著な学力の問題は見られない。

【質問紙調査の結果】

- ・主体的・対話的で深い学びについて、概ねどの学年でも実施できている。学習方略についても、ほぼ昨年度と同様であるが「プランニング方略」「作業方略」が昨年度よりやや高い。
- ・自己効力感が学年が進むにつれて低下する傾向がある。発達段階とも捉えられるが、引き続き自己効力感を高めていく取組を進めていきたい。

4 今後の取組

今後、今回の調査結果の分析を進めるとともに、全国学力学習状況調査とも関連付けながら、来年度の事業計画を立て、良い実践を広く周知するとともに支援が必要な学校に対して適切に対応できるよう検討する。

(1) 調査結果を市町村教育委員会と共有し、連携した取り組み

調査結果を市町村教育委員会と共有し、現学年の教科ごとの学力レベルや非認知能力や学習方略について、学校ごとに検討し、今後支援が必要な学校を明確にするとともに、どのような手立てを打てるか検討する。特に、小学5年生については、支援が必要な学校について短期的で具体的な支援策を講じるよう市町村教育委員会と連携する。

(2) 学力レベルの伸びの大きかった学校・学年・学級について聞き取りを実施し、全県に情報提供

学力レベルが大きかった学校・学年・学級から聞き取りを行い、効果的な取組として報告書にまとめ全県の小・中・義務教育学校に情報提供する。

(3) 調査結果の活用について説明会を開催

調査結果の活用法について、実施校の教員向けにオンラインで説明会を開催し、帳票の見方や具体的な活用の仕方について説明し、各学校での効果的な活用を促す。10月末に運用開始予定の「分析シート」についても説明会を開催し活用を図ることで、調査結果の分析に係る負担を軽減し、日々の教育に活かせるようにする。

管理職を対象とした「とっとり学力・学習状況調査を活用した学校マネジメント研修会」を開催し、調査結果を学校経営に活用するための考え方等について研修を行う。

(4) 調査結果活用モデル地域を設定し、教育の効果検証の実施

調査結果をモデル地域の教育委員会と協働で分析チームを編成し、教育の効果が大きくみられる学校に聞き取りを行ったり、教育の成果を数値で測ったりし、成果指標として活用するなど、とっとり学調の効果的な活用方法について実証研究を行う。

(5) 調査結果活用協力実践校を配置し、モデル的な活用状況について発信

東部地区、西部地区に1校ずつ調査結果活用協力実践校を設置し、文部科学省企画官から指導助言を受けながら効果的な活用を進めるとともに、その取組を分析活用説明会で発表し活用を促す。

(6) 国語科の授業づくり研修会を開催し、授業改善に向けて情報発信

全国学力・学習状況調査の問題作成に長年携わった大学准教授を講師として招聘し、国語科の授業づくりにおいて大切にすべきポイントを教員に示し、「今、求められる学力」を育成する授業改善への活用を促す。エキスパートによる授業を基に、指導主事の解説やポイントを加えた研修動画を作成し、手本となる授業を示すことで、各学校での研修や日々の教材研究に活用できるようにする。

国語の授業づくりの基本的な内容について4回シリーズで研修講座をオンラインで配信する。そのことで日々の授業づくりに困っている教員をサポートし、授業づくりについての技能を習得できるようにする。

5 その他

本調査は、令和2年度より埼玉県教育委員会と連携協定を結び、実施しているが、令和3年度、4年度に実施した本調査について、埼玉県教育委員会より質問紙調査の一部に誤りがあったとの連絡があった。内容としては、非認知能力に関連する質問に係る回答の選択肢に誤りがあったというもの。

この度の調査結果については、誤りのあった問題の回答について補正を行い、参考値として算出されている。本県としては、補正された調査結果には全体的に見れば大きな影響はなかったと捉えている。

なお、質問紙調査に誤りがあったことについては、既に埼玉県教育委員会より公表されている。

令和4年度「とっとり学力・学習状況調査」結果について【概要】

令和4年9月8日
小中学校課

1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

2 調査の特長

◇個人の学力の伸びを継続して把握することができる。

※学力の伸びが把握できるのは2年目以降（今年度は、大山町を除く）

◇質問紙調査によって、非認知能力や学習方略を把握し、指導に生かすことができる。

※非認知能力：自己効力感、自制心、勤勉性、やりぬく力、向社会性

※学習方略（学びに向かうときの態度や学習の仕方）：柔軟的方略、プランニング方略、作業方略、認知的方略、努力調整方略

3 調査実施日

令和4年5月9日（月）から5月18日（水）までの期間において、市町村（学校組合）教育委員会・学校が設定した日

4 参加学校・参加人数

参加学校（校）		参加人数（人）	
小学校	102	小学校第4学年	4162
義務教育学校（前期課程）	4	小学校第5学年	4362
中学校	43	小学校第6学年	4144
義務教育学校（後期課程）	4	中学校第1学年	4036
特別支援学校（小・中）	3	中学校第2学年	3829

5 調査事項

小・義務教育学校第4学年から第6学年：国語、算数、質問紙（アンケート）

中学校第1、2学年、義務教育学校第7、8学年：国語、数学、質問紙（アンケート）

※学習指導要領に示された内容のうち各学年の前学年までの内容

6 埼玉県教育委員会との連携協定

本調査は、埼玉県教育委員会と締結した連携協定に基づき、調査問題の相互利用等をしながら実施する。なお、埼玉県では、平成27年度から埼玉県学力・学習状況調査として実施している。

7 調査問題の公表について

本調査は児童生徒の学力の経年変化を見とるための調査であるため、調査問題の内容については非公表とする。

令和4年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（鳥取県）

鳥取県教育委員会

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。
 ◇本調査の目的は、平均正答率を比較することではなく、学力の伸びを継続して把握することである。

■鳥取県の平均正答率（％）

	小学校第4学年	小学校第5学年	小学校第6学年	中学校第1学年	中学校第2学年
国語	56.7	55.2	61.0	57.5	55.2
算数・数学	59.7	63.6	59.7	58.3	52.4

■鳥取県のカテゴリー別正答率（％）

【国語】

分類	区分	平均正答率				
		小4	小5	小6	中1	中2
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	63.9	64.6	63.0	60.8	52.7
	情報の扱い方、我が国の言語文化	51.6	52.1	74.6	57.2	59.3
	話すこと・聞くこと、書くこと	38.4	48.9	61.6	52.3	52.7
	読むこと	58.3	42.2	53.5	55.5	57.9
評価の観点	知識・技能	61.7	63.2	64.3	59.9	54.8
	思考・判断・表現	47.2	44.8	56.6	54.3	56.0
	主体的に学習に取り組む態度	－	－	－	－	－
問題形式	選択式	63.4	58.2	63.9	62.0	57.8
	短答式	47.9	53.0	57.4	45.4	46.2
	記述式	12.8	20.2	28.0	43.4	51.3

【算数・数学】

分類	区分	平均正答率				
		小4	小5	小6	中1	中2
教科の領域等	数と計算	60.0	64.3	64.7	62.0	54.6
	図形	48.9	54.7	56.5	52.5	47.6
	変化と関係(小4は測定)	60.7	73.6	63.8	57.8	55.6
	データの活用	70.9	65.9	49.8	59.1	50.5
評価の観点	知識・技能	62.1	64.2	60.3	59.0	53.6
	思考・判断・表現	44.2	60.3	54.3	51.2	43.7
	主体的に学習に取り組む態度	－	－	－	－	－
問題形式	選択式	57.4	61.8	59.6	56.3	50.1
	短答式	63.8	67.7	61.7	60.8	55.5
	記述式	37.3	38.6	33.0	47.1	36.1

令和4年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（鳥取市）

鳥取県教育委員会

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

■鳥取市の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	57	↑↑	55	↑↑↑↑	62	↑↑↑	57	↑↑↑	56
算数 数学	60	↑↑↑↑	63	↑↑↑↑	61	↑↑↑↑	58	↑↑↑	51

■鳥取県の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	56.7	↑↑	55.2	↑↑↑↑	61.0	↑↑↑	57.5	↑↑↑	55.2
算数 数学	59.7	↑↑↑↑	63.6	↑↑↑↑	59.7	↑↑↑↑	58.3	↑↑↑	52.4

※平均正答率・・・各教科の平均正答数を設問数で割った値の百分率（％）

※前年度より学力が伸びた児童生徒の割合

↑↑↑↑↑＝80％以上、↑↑↑↑＝70％以上 80％未満、↑↑↑＝60％以上 70％未満

↑↑＝50％以上 60％未満、↑＝50％未満

令和4年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（岩美町）

鳥取県教育委員会

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

■岩美町の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答 率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答 率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	58	↑↑	60	↑↑↑↑	59	↑↑	59	↑↑↑	56
算数 数学	61	↑↑↑↑↑	72	↑↑↑↑↑	59	↑↑↑	59	↑↑	48

■鳥取県の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	56.7	↑↑	55.2	↑↑↑↑	61.0	↑↑↑	57.5	↑↑↑	55.2
算数 数学	59.7	↑↑↑↑	63.6	↑↑↑↑	59.7	↑↑↑↑	58.3	↑↑↑	52.4

※平均正答率・・・各教科の平均正答数を設問数で割った値の百分率（％）

※前年度より学力が伸びた児童生徒の割合

↑↑↑↑↑＝80％以上、↑↑↑↑＝70％以上 80％未満、↑↑↑＝60％以上 70％未満

↑↑＝50％以上 60％未満、↑＝50％未満

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

■八頭町の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童の 割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	62	↑	56	↑↑↑↑	62	↑↑↑	60	↑↑↑	59
算数 数学	62	↑↑↑↑	66	↑↑↑	61	↑↑	60	↑↑	55

■鳥取県の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	56.7	↑↑	55.2	↑↑↑↑	61.0	↑↑↑	57.5	↑↑↑	55.2
算数 数学	59.7	↑↑↑↑	63.6	↑↑↑↑	59.7	↑↑↑↑	58.3	↑↑↑	52.4

※平均正答率・・・各教科の平均正答数を設問数で割った値の百分率（％）

※前年度より学力が伸びた児童生徒の割合

↑↑↑↑↑＝80％以上、↑↑↑↑＝70％以上 80％未満、↑↑↑＝60％以上 70％未満

↑↑＝50％以上 60％未満、↑＝50％未満

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

■智頭町の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答 率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答 率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	69	↑↑	52	↑↑↑↑	63	↑↑↑	52	↑	54
算数 数学	65	↑↑↑↑↑	65	↑↑↑↑↑	61	↑↑↑	48	↑↑↑	46

■鳥取県の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	56.7	↑↑	55.2	↑↑↑↑	61.0	↑↑↑	57.5	↑↑↑	55.2
算数 数学	59.7	↑↑↑↑	63.6	↑↑↑↑	59.7	↑↑↑↑	58.3	↑↑↑	52.4

※平均正答率・・・各教科の平均正答数を設問数で割った値の百分率（％）

※前年度より学力が伸びた児童生徒の割合

↑↑↑↑↑＝80％以上、↑↑↑↑＝70％以上 80％未満、↑↑↑＝60％以上 70％未満

↑↑＝50％以上 60％未満、↑＝50％未満

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

■倉吉市の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	57	↑↑	57	↑↑↑	61	↑↑	56	↑↑	53
算数 数学	59	↑↑↑	64	↑↑↑	60	↑↑↑	59	↑↑↑	53

■鳥取県の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	56.7	↑↑	55.2	↑↑↑↑	61.0	↑↑↑	57.5	↑↑↑	55.2
算数 数学	59.7	↑↑↑↑	63.6	↑↑↑↑	59.7	↑↑↑↑	58.3	↑↑↑	52.4

※平均正答率・・・各教科の平均正答数を設問数で割った値の百分率（％）

※前年度より学力が伸びた児童生徒の割合

↑↑↑↑↑＝80％以上、↑↑↑↑＝70％以上 80％未満、↑↑↑＝60％以上 70％未満

↑↑＝50％以上 60％未満、↑＝50％未満

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

■湯梨浜町の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	58	↑	53	↑↑↑	58	↑↑	57	↑↑↑	55
算数 数学	60	↑↑↑	62	↑↑↑	57	↑↑↑	54	↑↑↑	49

■鳥取県の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	56.7	↑↑	55.2	↑↑↑↑	61.0	↑↑↑	57.5	↑↑↑	55.2
算数 数学	59.7	↑↑↑↑	63.6	↑↑↑↑	59.7	↑↑↑↑	58.3	↑↑↑	52.4

※平均正答率・・・各教科の平均正答数を設問数で割った値の百分率（％）

※前年度より学力が伸びた児童生徒の割合

↑↑↑↑↑＝80％以上、↑↑↑↑＝70％以上 80％未満、↑↑↑＝60％以上 70％未満

↑↑＝50％以上 60％未満、↑＝50％未満

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

■三朝町の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答 率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	64	↑	52	↑↑↑↑↑	66	↑↑↑↑	60	↑↑	56
算数 数学	65	↑↑↑↑	67	↑↑↑↑↑	68	↑↑↑↑	69	↑	53

■鳥取県の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	56.7	↑↑	55.2	↑↑↑↑	61.0	↑↑↑	57.5	↑↑↑	55.2
算数 数学	59.7	↑↑↑↑	63.6	↑↑↑↑	59.7	↑↑↑↑	58.3	↑↑↑	52.4

※平均正答率・・・各教科の平均正答数を設問数で割った値の百分率（％）

※前年度より学力が伸びた児童生徒の割合

↑↑↑↑↑＝80％以上、↑↑↑↑＝70％以上 80％未満、↑↑↑＝60％以上 70％未満

↑↑＝50％以上 60％未満、↑＝50％未満

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

■北栄町の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答 率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	60	↑↑	61	↑↑↑↑	59	↑↑↑	58	↑↑↑	54
算数 数学	64	↑↑↑↑	70	↑↑↑	56	↑↑↑↑↑	65	↑↑↑↑	52

■鳥取県の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	56.7	↑↑	55.2	↑↑↑↑	61.0	↑↑↑	57.5	↑↑↑	55.2
算数 数学	59.7	↑↑↑↑	63.6	↑↑↑↑	59.7	↑↑↑↑	58.3	↑↑↑	52.4

※平均正答率・・・各教科の平均正答数を設問数で割った値の百分率（％）

※前年度より学力が伸びた児童生徒の割合

↑↑↑↑↑＝80％以上、↑↑↑↑＝70％以上 80％未満、↑↑↑＝60％以上 70％未満

↑↑＝50％以上 60％未満、↑＝50％未満

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

■琴浦町の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	60	↑↑	56	↑↑↑↑	62	↑↑↑	58	↑↑↑	59
算数 数学	60	↑↑↑↑	67	↑↑↑↑	59	↑↑↑↑↑	61	↑↑↑↑	57

■鳥取県の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	56.7	↑↑	55.2	↑↑↑↑	61.0	↑↑↑	57.5	↑↑↑	55.2
算数 数学	59.7	↑↑↑↑	63.6	↑↑↑↑	59.7	↑↑↑↑	58.3	↑↑↑	52.4

※平均正答率・・・各教科の平均正答数を設問数で割った値の百分率（％）

※前年度より学力が伸びた児童生徒の割合

↑↑↑↑↑＝80％以上、↑↑↑↑＝70％以上 80％未満、↑↑↑＝60％以上 70％未満

↑↑＝50％以上 60％未満、↑＝50％未満

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

■米子市の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	56	↑↑	55	↑↑↑↑	61	↑↑↑↑	59	↑↑↑	56
算数 数学	59	↑↑↑↑	63	↑↑↑↑	61	↑↑↑↑	59	↑↑↑↑	54

■鳥取県の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	56.7	↑↑	55.2	↑↑↑↑	61.0	↑↑↑	57.5	↑↑↑	55.2
算数 数学	59.7	↑↑↑↑	63.6	↑↑↑↑	59.7	↑↑↑↑	58.3	↑↑↑	52.4

※平均正答率・・・各教科の平均正答数を設問数で割った値の百分率（％）

※前年度より学力が伸びた児童生徒の割合

↑↑↑↑↑＝80％以上、↑↑↑↑＝70％以上 80％未満、↑↑↑＝60％以上 70％未満

↑↑＝50％以上 60％未満、↑＝50％未満

令和4年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（境港市）

鳥取県教育委員会

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

■境港市の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	50	↑↑	52	↑↑↑↑↑	56	↑↑↑	53	↑↑↑	50
算数 数学	55	↑↑↑↑	61	↑↑↑↑	53	↑↑↑	52	↑↑↑↑	49

■鳥取県の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	56.7	↑↑	55.2	↑↑↑↑	61.0	↑↑↑	57.5	↑↑↑	55.2
算数 数学	59.7	↑↑↑↑	63.6	↑↑↑↑	59.7	↑↑↑↑	58.3	↑↑↑	52.4

※平均正答率・・・各教科の平均正答数を設問数で割った値の百分率（％）

※前年度より学力が伸びた児童生徒の割合

↑↑↑↑↑＝80％以上、↑↑↑↑＝70％以上 80％未満、↑↑↑＝60％以上 70％未満

↑↑＝50％以上 60％未満、↑＝50％未満

令和4年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（日吉津村）

鳥取県教育委員会

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

■日吉津村の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	63	↑↑	55	↑↑↑↑	63	-	-	-	-
算数 数学	61	↑↑↑	61	↑↑↑↑	59	-	-	-	-

■鳥取県の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年		中学校 第2学年	
	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた児童 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率	前年度より 学力が 伸びた生徒 の割合	平均 正答率
国語	56.7	↑↑	55.2	↑↑↑↑	61.0	↑↑↑	57.5	↑↑↑	55.2
算数 数学	59.7	↑↑↑↑	63.6	↑↑↑↑	59.7	↑↑↑↑	58.3	↑↑↑	52.4

※平均正答率・・・各教科の平均正答数を設問数で割った値の百分率（％）

※前年度より学力が伸びた児童生徒の割合

↑↑↑↑↑＝80％以上、↑↑↑↑＝70％以上 80％未満、↑↑↑＝60％以上 70％未満

↑↑＝50％以上 60％未満、↑＝50％未満